

医療安全研修と活動

令和 7 年度医療安全研修

医療安全研修

開催日	内容	講師	対象/受講率	開催形式
令和7年4月	医療安全～安心安全な医療の提供～	医療安全室：小澤	新入職員:71名	集合研修
5月1日	中途採用者オリエンテーション	医療安全室：小澤	看護補助者：1名	対面研修
6月2日	中途採用者オリエンテーション	医療安全室：小澤	看護補助者：1名	対面研修
6月17日	新・患者安全行動計画3 確認業務の安全確保	医療安全全国共同行動	看護師：7名	集合・配信研修
6月24日	WEBセミナー 身体拘束	酒井郁子先生 長谷川直先生	看護師：6名	集合・配信研修
7月31日	臨床倫理を考える会 「臨床倫理に役立つ法的知識」	いなば法律事務所：稲葉一人氏	看護師：2名	集合・オンライン研修
8月26日	心電図モニターアラームの現状と対策	日本光電：鈴木氏	全職員/58名	集合研修
9月2日	【必須】Team STEPPS	医療安全室：菅谷	全職員:750名/100%	院内システムによる研修
2月3日	【必須】「5S活動」のススメ	医療安全室：地引	全職員：733名/100%	院内システムによる研修
3月7日	【必須】身体的抑制最小化に向けた取組	SMT身体的抑制最小化チーム	全職員：721名/99.4%	院内システムによる研修

その他医療安全に関する研修

開催日	内容	講師	対象/受講者数	開催形式
6月25日	医療安全 KYT/インシデント	医療安全室副室長：小澤	新人看護師：25名	集合
7月31日	事故要因分析	医療安全室副室長：小澤	看護部習熟度段階Ⅱ以上：4名	集合
4月～3月	アーカイブ：医療機関におけるハラスメント		全職員（非必須）：516名	院内システムによる配信
	アーカイブ：医療機関における悪質クレーム		全職員（非必須）：516名	院内システムによる配信
	アーカイブ：個人情報保護について		全職員（非必須）：530名	院内システムによる配信

医療安全活動

1) 院内巡視

令和7年度の院内巡視は、救急カートの点検ラウンド、配薬カート点検ラウンドを継続して行った。
ラウンドの結果は部署ごとにとりまとめ、配布・伝達した。実際の使用状況や診療材料の変更をふまえて、マニュアルの改訂や、SMT と課題を共有した。
また、院内で発生した事象からテーマを決め、毎月巡視を行い、改善活動へつなげた。

救急カートラウンド

ラウンド日: 1月16日

令和7年度 チェック項目	5月	9月	1月	備考
木曜日または使用時にチェックしている	○	○	○	
点検表は最新のものを使用している	○	○	○	
確認後指定のテープで封印している	○	○	○	
封印したテープに確認日が記載されている	○	○	○	
カート上段に不必要なものが置かれていない	○	×	○	
電波時計の時刻が合っている	○	○	○	
点検者が同一でない	○	○	×	同じ人の点検が続かないようにしよう
管理者が月1回は確認している	○	○	○	
診療材料が輪ゴムで止められていない	○	○	○	

3段目

4段目

引き出しの中が綺麗に整理されていました。
破損の恐れがあるため、バグバルブマスクは、4段目に収納しましょう

各位

令和8年3月17日

緊急時の対応についての掲示場所について

緊急時の対応についての掲示場所が各部署統一されていませんでした。
統一することで、どの病棟に行っても誰もが同じように把握しやすくなる
と考えました。
そこで、以下のように掲示場所を統一します。

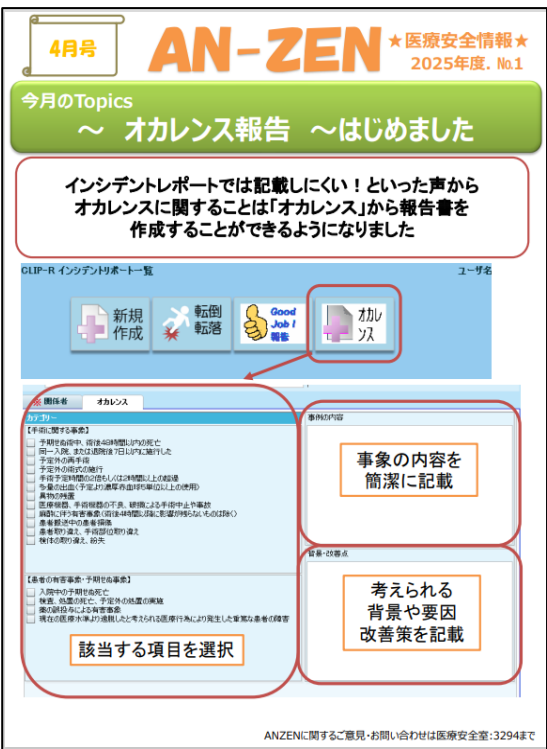
< MET・DEN 医療事故発生時の連絡体制 >
総合監前面

つきましては、
3/23（月）に、掲示に伺いますので、ほかの掲示物は撤去、もしくは移動をお願い
いたします。
また、現在掲示している「MET」「DEN」「事故発生時の対応フロー」は使用します
ので、破棄しないようお願いいたします。
手術室・救急外来・ICU・外来につきましては、別途ご相談させていただきます。
ご協力をお願いいたします。

医療安全室

2) 医療安全ニュース

医療安全に関するニュース「ANZEN」を、毎月1回院内システムのお知らせで配信した。
職員の皆さんにお知らせしたい事例などが発生した時は、臨時号を随時作成して事例の紹介や改善策の周知に努めている。



3) 医療安全情報

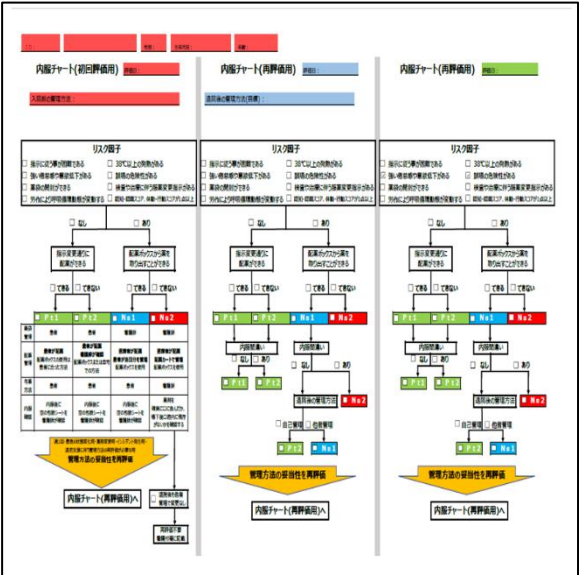
日本医療機能評価機構より配信された、医療安全情報をもとに、当院での類似事例や対策も一緒に記載し、院内システムのお知らせで配信した。

4) SMT（Safety Management Team）活動

「誤薬予防チーム」「転倒・転落予防チーム」「身体的抑制最小化チーム」の3チームで活動した。

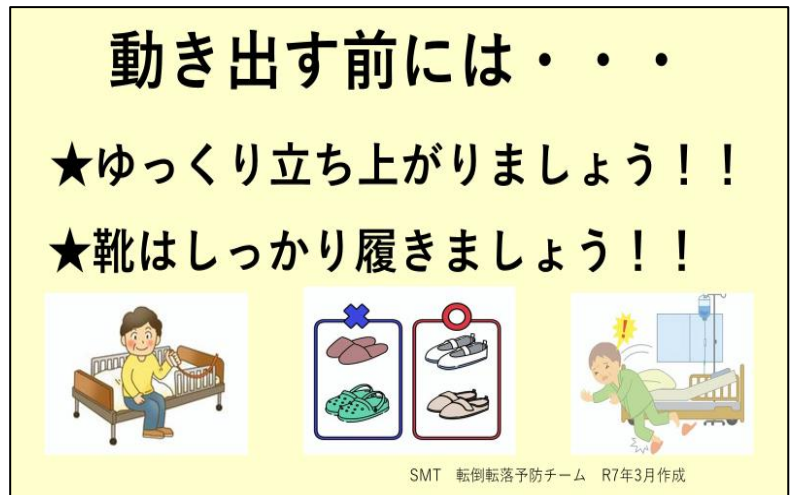
〔誤薬予防チーム〕

安全で確実な内服管理を継続して行い、看護師管理薬のインシデントを減らすことを目標に活動した。
適正な内服管理方法が選択できるように、『内服チャート』を評価し、改定した。



〔転倒・転落予防チーム〕

転倒・転落の予防は、患者さんのご協力がとても重要になる。そこに着目し、患者さんと一緒に取り組むことができるように、ポスターを作成した。患者さんへの説明方法を考え、次年度実施に向けて準備を進めている。



〔身体抑制最小化チーム〕

身体抑制最小化チームは、患者さんの人権を保護し、病状等に応じて必要最小限の範囲で適正に行われることを目的として活動した。全職員が一丸となり取り組むことができるように、院内研修を企画・実施した。

